

学校医（越後貴医師・川上医師）から

1 健康観察の強化

- ・登校前の検温及び家族内の健康状態の把握。

2 マスクの着用及びこまめな手洗いの徹底

3 3密を避ける

- ・特に登下校中、休憩時は注意する。
- ・2方向の窓を開け、換気をする。

4 消毒の徹底をする

- ・ガイドラインにそった箇所を実施する。
（次亜塩素系の消毒剤を使つての拭き掃除でもよい）



共通理解

*新型コロナウイルスについてのNO2を再度確認して下さい。

1 について

- ・健康観察表より家族内の健康状態の確認の徹底を図る。
- ・登校時、必ず昇降口で健康観察実施の確認をし、検温していない生徒については、放射温度計で測定する。熱がある生徒は、技術室で待機させ早退させる。（大久保対応）登校時以外は、応接室で待機させ早退させる。（職員室へ連絡）

2 について

- ・使い捨てマスクが無い生徒は、原則布マスク（配布済）を着用するよう指導する。
- ・当日、着用してこない生徒については、使い捨てマスクを配布する。（1枚）

3 について

- ・登下校中や休憩時は、ソーシャルディスタンスを守り、できるだけ会話は控える。
- ・トイレや手洗い場を使用する時は、ソーシャルディスタンスを守る。
（使用禁止場所は使わない。）
- ・バス乗車中は、窓を開けできるだけ会話は控える。（バス会社へ換気依頼）
- ・各教室及び廊下の窓や出入り口を開ける。（2方向）

4 について

<生徒>

- ・登下校前後は、昇降口でアルコール消毒をする。
- ・こまめに手洗いやアルコール消毒をする。（各教室に配布済み3本）

<職員>

- ・休憩時終了後、手洗い場の蛇口やトイレノブの消毒等（各階職員）
- ・トイレ掃除は、生徒にはさせない（各階職員）
- ・生徒下校後、教室内等の消毒（各階職員）

- ①次亜塩素系消毒剤・・・・・・トイレ、教室内等（使用は教師のみ、手袋着用）
・バケツのテープ印まで水を入れ、消毒剤キャップ2杯を入れる。
- ②アルコール消毒・・・・・・手指、教室等
- ③ミクロテクト（無臭）・・・・手指（給食時）、教室内等

新型コロナウイルス感染症予防のための教室やトイレの消毒について

【教室等の消毒について】

1 配布している消毒剤（不足した場合は佐藤へ）

- ① 次亜塩素系消毒剤・・・トイレ、教室内等（使用は教師のみ、手袋着用）
・バケツのテープ印まで水を入れ、消毒剤キャップ2杯を入れる。
- ② アルコール消毒・・・手指、教室等
- ③ ミクロテクト（無臭）・・・手指（給食時）、教室内等

2 消毒する場所

- ① 教室 ⇒ 次亜塩素系消毒剤拭き
- ② ドアノブや手すり ⇒ //
- ③ スイッチ ⇒ //
- ④ 配膳台（給食前）⇒ ミクロテクト噴霧または次亜塩素系消毒剤拭き
- * ⑤ 手洗い場の蛇口 ⇒ ミクロテクト噴霧
- * ⑥ トイレのノブ ⇒ ミクロテクト噴霧



3 消毒する時間（目安）

* ⑤⑥は休憩時後。①～③は放課後など。④は給食前。

* 特別教室は使用後に適宜、担当者が消毒をおこなう。

【トイレ掃除及び消毒方法】

1 消毒液の準備

・バケツに水を2ℓと塩素系漂白液をキャップ2杯入れる

2 掃除の手順

- ① 換気を行い、マスク・使い捨て手袋をつける
- ② トイレ用洗剤（酸性）を使い、便器をブラシで掃除する
- ③ 床をはく
- ④ 周囲をペーパータオルでふきとる（ペーパータオルは流さない）
（ドアノブ→洗浄レバー→便座→便器等）
- ⑤ 消毒液の入ったバケツに雑巾を入れて浸す
- ⑥ 雑巾をしぼり床をふく
- ⑦ 床を拭き終わったら、雑巾をすすぐ
- ⑧ 使い捨て手袋・ペーパータオルをビニール袋に入れ、封をして捨てる



マスク着用について

(旧) 換気を適切に行っている室内や屋外である場合は、必ずしも必要ない。

(新) 学校教育活動においては、通常マスクを着用。特に近距離での会話や発声等が必要な場面では、飛沫を飛ばさないよう、マスク着用を徹底する。

換気について

(新) エアコンは室内の空気を循環しているのみで、室内の空気と外気の入れ替えを行っていないことから、エアコン使用時においても換気は必要。

(文科省ガイドラインから 5月13日付 更新)

1 特にマスク熱中症に注意

①マスク着用で熱中症の危険度が高まる理由

- ・口と鼻がふさがれ体温が上昇。(鼻冷却されにくくなり体温上昇につながる)
- ・のどの乾きを感じにくい。(湿度が高くなるため、のどの渇きに気づきにくい)
- ・マスクを外しにくく水分補給を忘れがちになる。

唾液内には鼻咽頭の5倍のウイルスが含まれるというデータもあるため、可能な限り夏場でもマスクを着用する必要がある。

②マスク熱中症などの対応策

- ・こまめな水分補給をする(例年以上に水分補給を意識する)
一日にペットボトル(500ml)3本が目安
- ・暑さに体を慣れさせる

③外出自粛で熱中症の危険性高まる理由

- ・筋肉には水分が豊富→運動不足で筋力量が低下→脱水症状を起こしやすい
- ・「隠れ脱水」自分でチェックするには・・・
親指の爪先を押した後すぐに赤みが戻らない場合は(目安3秒)隠れ脱水の疑い
- ・同じ時間・服装で毎日体重測定し、前日より3%減が脱水の目安

④外出自粛でエコノミークラス症候群にも注意

- ・歩く量が減り、足の血の巡りが悪く血栓ができやすい。



最悪の場合、肺に血液が行かず突然死の可能性

- ・室内でも足踏みをする。できない人はマッサージをする。

2 エアコン使用時の換気方法

ほとんどのエアコンは、部屋の空気を循環させているだけで、換気はしていない。部屋に感染者がいた場合、エアコンでウイルスが室内に広がる可能性もある。

①エアコン使用時の換気方法

- ・窓が2つ以上の場合、対角線上の窓を開ける
- ・風が入りぬくい場合、片方を小さく開け、もう一方を大きく開ける
- ・窓が1つの場合、ドアと窓を開けた状態で扇風機を窓際の外(窓)に向けて置く

②換気が目安

- ・2時間で1回10分の換気より1時間に5分の換気を2回する方がよい

(ダイキン工業担当者)